

登録を推進するためテレビ CM に加えて SNS での情報発信を積極的に行っております。またドナー登録者が仕事のため骨髓・末梢血幹細胞の提供をできない事も多いとされ、「骨髓バンクドナー休暇制度」の導入も推進し、2025年7月末時点で導入企業・団体は906社とされています。ドナーのための助成制度も全国の自治体・民間団体で導入され、沖縄県では令和2年から市町村がドナー助成を行う場合にその経費の一部を補助する「沖縄県骨髓バンクドナー助成事業補助金」が造られています。また日本ではバンク登録を行う際に献血会場に

行って HLA 検査のための採血が必要なのですが、海外では口腔粘膜をスワブで拭い、それをポストに投函して登録という流れが主流です。日本でも 2026 年以降の導入に向けて準備が進められている状況です。

骨髓バンク推進月間にあたり、医療者の皆さんには造血幹細胞移植や骨髓バンク事業に関する知識を深めていただき、それを地域や患者さんに啓蒙していただくことでバンク登録者が増加し、1人でも多くの移植適応の患者さんに適切なドナーが見つかる事を期待したいと思います。



お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮良・國吉）までお電話いただか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○ 「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

